

(単位：千円)

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	人		51	86	55			
		目標値			35	35	35	35	35	
	「スタインウェイを弾いてみよう」参加者数	達成度		%	146%	246%	157%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回		2	2	3			
	文化振興事業実施件数	当初見込			4	4	4	4	4	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
令和6年度活動見込 ・「スタインウェイを弾いてみよう」イベントの開催 ・文化公演自主事業の開催 ・厚生会館市民交流公演事業の開催(R6新規事業) 計3件										
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績								
		目標値								
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績								
		当初見込								
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	令和6年度は青少年をはじめとした市民に芸術文化の体験機会を提供することで、豊かな感性を育むとともに市民同士の交流を促進し、将来の文化活動の担い手を育成するために、新たに厚生会館市民交流公演事業ダンス×ドラマ×ミュージック「わが星」を実施し、657名の方に観劇いただいた。観劇者からも「次年度に同様の事業があれば是非参加したい」とのお声もいただき、事業目的が一定達成できたと考えている。広報活動には注力したが、一方では「こうした事業が進んでいることを知らなかった」というお声もあったため、広報活動は新たな方法も含めて検討したい。 引き続き「スタインウェイを弾いてみよう」や「厚生会館市民交流公演事業」など、市民参加型のイベントの実施を通して、厚生会館の利用促進や文化の拠点施設としての充実を図る。								
現状の課題 に対する 改善策	令和6年度に開始した厚生会館市民交流公演事業の広報活動については、福知山市オフィシャルホームページのほか、ポスター掲示やチラシ配架について市内公共施設だけではなく、民間施設にもご協力をいただいた。また公式Instagramの活用や厚生会館デジタルサイネージでの広報も実施した。 これらが一定実績に繋がったこともあり、他イベントにおいても同様に実施するとともに、新たな広報活動の手法についても引き続き検討したい。 令和7年度より『市民文化活動推進事業他文化振興関連事業』に統合。								

(単位：千円)

|| 事業基礎情報

III 予算執行状況

3

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	人	29	27	28					
		目標値		50	50	50	50	50			
		新規出品者数	達成度	%	58%	54%	56%	0%	0%		
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	344	312	295					
	出品者数	当初見込		400	400	400	400	400			
活動内容① (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 出品者は70代が最も多く、若者にも関心を持ってもらうためにSNSを活用して告知をする。 また、若者にも出品しやすいよう令和7年度から部門の変更を行う。(彫刻に立体造形を含めるなど)									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度			
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績									
		目標値									
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績									
		当初見込									
活動内容② (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること
	■ 毎年一定時期に開催していることにより、三たん地方を中心とする公募美術展として定着している。 ■ 60歳以上の出品者により、一定の出品者数を維持できている。一方で、高校生をはじめとする若年層の出品者数が減少している。 ■ 来場者に対するアンケートの結果より、高齢者、出品者の知人等を中心とする来場者層の固定化が想定される。 ■ 会場である厚生会館が老朽化で雨漏り等が発生しており、会場の変更を検討する必要がある。
現状の課題 に対する 改善策	■ 若年層などにも出品されやすいよう第61回(令和7年度)から部門の変更を行う。 ■ 共催団体と連携して、市内の文化教室に作品募集の周知を行うとともに、展示会場での文化教室案内チラシの配架等を行う。 ■ 新規来場者の増加を目指し、HPやSNS等を利用した広報の頻度増加等を検討する。 ■ 来場者が快適に鑑賞できるよう、展示配置やキャプション見やすさ向上等の改善を行う。 ■ 第61回(令和7年度)から会場を厚生会館から市民交流プラザに変更する。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	佐藤太清賞公募美術展事業										事業コード	020108650205			
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち						政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり						
	施策名	2 生活の質を高める文化・芸術活動の振興								施策コード	512				
事業担当	所属	020700 市民生活部文化・スポーツ振興室						所属長	井上 郷太郎						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	75	頁
計画期間	開始年度	平成13年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針				R7現在の状況		継続中	
根拠法令等	-														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 21世紀の芸術文化を担う人材の育成を目的として高校生、大学生を中心に全国から絵画作品の一般公募を行う。佐藤太清賞、特選、入選に選ばれた作品の巡回展示を行う。会場は福知山市厚生会館をはじめ、横浜、東京、京都、名古屋にて行う。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 出品者数の減少、特に市内の高校からの出品数の減少。会期中の入場者数の増加に向けて各会場でのPR方法を検討する必要がある。多くの市民が作品を鑑賞できる場を創出する必要がある。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 福知山市出身の日本画家であり、名誉市民である佐藤太清画伯の顕彰と文化芸術に携わる人材を育成する。 北近畿の中核都市に相応しい文化的イメージの向上を図るとともに、全国に情報を発信することで、福知山市の認知度向上につなげる。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ●全国規模の絵画、日本画の公募美術展の開催 対象は高校生、大学生等の若手芸術家や将来芸術家を目指す若年層 ●入選以上の作品の巡回展の実施 ●美術品運送、会場設営などは専門的知識や経験の必要な業務であり、委託業者による効率的な運営を行っている ●パネル展示を市内施設で巡回しPRしている					
対象者	市民、出品者(全国の15歳から27歳までの方)、入場者(市内外を対象)		対象者数	675,712	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	12,519		13,200		13,919		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		12,519		13,200		13,919		0					
予算財源内訳	① 一般財源	561		6,571		0		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	11,958		6,629		13,919		0					
決算情報	① 流充用額	793		754									
	② 配当予算	13,312		13,954									
	③ 執行額	12,851		13,953									
	④ 執行率	96.5%		100.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.67	/	0.37	0.72	/	0.40	/					
	② 概算人件費	6,396		6,880									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		19,247		20,833									
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	市町村交付金		種類	雑入		実績金額	4,000		決算附属資料	48		頁
		佐藤太清賞公募美術展事業基金繰入(佐藤太清記念美術館振興基金)			基金繰入金			2,200			35		
		佐藤太清賞公募美術展出品料			雑入			362			46		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。		成果実績	人		96	118	137			
			目標値			250	250	250	250	250	
	出品者数			達成度	%	38%	47%	55%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	人		1587	1670	2305			
	入場者数		当初見込			2000	2000	2000	2000	2000	
活動内容① (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
		出品者の増加を図るため、大学、専門学校への案内の徹底を図る。市内出品者の増加に向け各高校等へ周知を図っていく。さらに、専門誌等への有効な広報活動を行う。より多くの人に観ていただけるように各会場のPR方法を検討する。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。		成果実績								
			目標値								
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績								
			当初見込								
活動内容② (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	「佐藤太清の福知山」、「若い世代の育成」という福知山からのメッセージを全国に発信できている。市内の高校から毎年出品いただくなど市内においても定着している。多くの市民が作品を鑑賞できる場を創出するために会期を3日間から5日間に増やし、市内各施設においてパネルによるPRを行った。福知山会場の入場者数は少なく、地元高校生の出品・入賞などをPRし入場者数の増加につながるような周知が必要である。	
現状の課題 に対する 改善策	出品者の増加を図るため、大学、専門学校等への案内の徹底を図るとともに、市内出品者が増えるよう各高校への周知を図っていく。入場者数の増加に向けて、各会場でのPR方法の検討を行い、専門誌等へ有効な広報活動等を行う必要がある。市内パネル展を行うにあたり、より多くの人に観ていただける場所で実施する必要がある。	

1 事業属性

(単位：千円)

事業名	中丹文化芸術祭事業										事業コード	020108650208				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち								政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり					
	施策名	2 生活の質を高める文化・芸術活動の振興								施策コード	512					
事業担当	所属	020700 市民生活部文化・スポーツ振興室								所属長	井上 郷太郎					
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	75		頁
計画期間	開始年度	昭和62年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	-															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()															
関連事業	-															

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 中丹文化事業団、中丹3市文化協会委員及び各市担当職員から組織される実行委員会により運営。中丹3市で芸術、創作活動に取り組む文化団体が一堂に会し発表する場を確保することで各市の文化団体が相互に交流し新たな文化を創造する機会となっている。各市分担金は均等であり、会場使用料及び負担金等を効率的に使用して事業を実施している。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 他市の文化団体の発表を鑑賞する機会であり、開催種目について次世代の文化の担い手の育成も視野に入れて設定されているが、新規の参加団体の獲得に苦戦している。京都府、中丹3市からの負担金を財源としているが予算削減により予算確保が難しくなっている。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づきまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 市民が取り組む芸術・創作活動の成果を発表する場を支援することで、より多くの市民に芸術に触れる機会を提供し、心豊かな地域社会の構築を目指す。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ●中丹3市と中丹文化事業団の共催で市民及び文化団体の舞台芸術や創作活動等の発表の場を提供する。 運営は各市文化団体を含めた実行委員会を組織して実施する。 開催場所は3市で分担し、3市が持ち回りで事務局を担当する。(令和5年度綾部市、令和6年度舞鶴市、令和7年度福知山市)					
対象者	市民、文化活動団体、事業参加者(市内、市外を対象)		対象者数	184,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (当番市への負担金交付)					
委託先・実施主体等						
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	使用料及び賃借料	129	施設使用料			
	負担金補助及び交付金	400	中丹文化芸術祭分担金			

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	637		532		664		0	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0	
小計(①～③)		637		532		664		0	
予算財源内訳	① 一般財源	637		532		332		0	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		332		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	0		0		0		0	
決算情報	① 流充用額	0		0					
	② 配当予算	637		532					
	③ 執行額	604		529					
	④ 執行率	94.8%		99.4%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 金計年度任用職員)	0.07	/	0.30	0.18	/	0.10		/
	② 概算人件費	1,400		1,720					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,004		2,249					
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁
				7					

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。		成果実績	人		940	1228	1090			
出演者数		目標値		1000	1000	1000	1000	1000		
		達成度		%	94%	123%	109%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	事業		6	6	6			
開催種目数		当初見込		9	9	9	9	9		
活動内容① (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
		他市の文化団体の発表を鑑賞する機会を創出。、各市の文化団体が相互に交流し、新たな文化を創造する機会となるよう、芸術、創作活動に取り組む文化団体が一堂に会し発表する場を確保する。新規の参加団体獲得のため新規団体の発掘や広報活動に取り組む。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。		成果実績								
		目標値								
		達成度		%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績								
		当初見込								
活動内容② (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所 属内による自己点検

定性的な面も 含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	中丹3市の文化団体の発表の場であり、各市の文化団体の相互交流、活動の周知や新規会員募集のPRの場としての役割を果たす。 開催種目について次世代の文化の担い手の育成も視野に入れて設定されているが、新規の参加団体の獲得に苦戦している。 京都府、中丹3市からの負担金を財源として運営しているが、いずれも予算削減により予算確保が難しくなっている。								
現状の課題 に対する 改善策									
	京都府と中丹3市、3市文化協会の協働で実施している事業であり、課題や情報を共有しながら進めていく。 新規の参加団体を獲得するため、中丹文化事業団、文化協会と連携して新規団体の発掘や広報活動に取り組む。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	市民文化活動推進事業他文化振興関連事業										事業コード	020108650209				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち						政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり							
	施策名	2 生活の質を高める文化・芸術活動の振興								施策コード	512					
事業担当	所属	020700 市民生活部文化・スポーツ振興室						所属長	井上 郷太郎							
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	75・76		頁
計画期間	開始年度	平成20年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針				R7現在の状況	他事業を統合			
根拠法令等	福知山市文化協会運営補助金交付要綱、ジュニア文化賞に関する規則、ジュニア文化賞表彰要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☒ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 福知山市文化協会の事業支援を行う。福知山市文化協会と共催事業として文化事業を実施するが、文化協会が中心的な役割を担い、各種公演、発表会を実施する。若者世代の文化活動を盛り上げるとともに、高校生以下の文化活動における全国大会等において優秀な成績を収めたものを表彰する。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 公益社団法人福知山市文化協会の安定的な法人運営を維持するため、文化協会事業支援補助金が必要となっている。ジュニア文化賞について認知してもらうために各学校に出向き制度の説明を行う必要がある。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 多くの市民が文化芸術活動・創作活動に自主的・主体的に参画でき、また発表・鑑賞できる豊かな感性を持った地域社会を構築することを目的とするために、文化協会に事業支援補助を実施し、市民の多様なニーズに対応した文化事業に取組み、文化・芸術活動の発表する機会を提供する。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ●公益社団法人福知山市文化協会への事業支援補助 ●公益社団法人福知山市文化協会との共催事業 ●ジュニア文化賞表彰 ●文化団体への後援等 ●文化・スポーツ振興室における事務処理全般									
対象者	市民、文化活動(文化協会)事業参加者					対象者数	75,000		単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	6,069		5,960		7,434		0			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①～③)		6,069		5,960		7,434		0			
予算財源内訳	① 一般財源	1,350		2,120		2,681		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	3,034		2,980		2,865		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	1,685		860		1,888		0			
決算情報	① 流充用額	424		△ 57							
	② 配当予算	6,493		5,903							
	③ 執行額	6,213		5,393							
	④ 執行率	95.7%		91.4%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.10	/	0.35	0.21	/	0.10	/			
	② 概算人件費	1,780		1,960							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		7,993		7,353							
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	市民文化活動推進事業他文化振興関連事業(きょうと地域連携交付金)		種類	総務費府補助金		2,628	決算附属資料	22	頁
			福知山市史等図書			物品売払収入		173		33	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件		5	5	5			
	全国大会出場補助金利用数	目標値			5	5	5	—	—	
			達成度	%	100%	100%	100%	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件		5	5	5			
	全国大会出場補助金申請件数	当初見込			5	5	5	—	—	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	高校生等の全国大会への出場に際し、市長の激励の場を設ける。全国大会出場補助金やジュニア文化賞なども広く認知してもらえるよう各学校回りをを行い、説明を重ねる。福知山市文化協会の事業支援を行うことにより、市民の多様なニーズに対応した文化事業を実施する。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件		6	6	5			
	文化協会との共催事業数	目標値			10	10	10	10	10	
			達成度	%	60%	60%	50%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人		6007	7975	9072			
	共催事業参加者数	当初見込			10000	10000	10000	10000	10000	
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	多くの市民が文化芸術活動、創作活動に参画できるように、福知山市文化協会の事業支援を行う。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	福知山市文化協会の事業支援を行うことにより、市民の多様なニーズに対応した文化事業を、文化協会加盟団体をはじめ市民の自主的・主体的な参画により実施できている。市民文化の一層の発展、安定的な法人運営を維持するため、文化協会事業支援補助金が必要となっている。ジュニア世代の文化活動を盛り上げ育成していくためにジュニア文化賞表彰を行っているが広く認知してもらうために制度の説明が必要である。								
現状の課題 に対する 改善策	今後も継続して市内学校に出向き、制度の説明を行う。 文化協会と連携をとり、時代や市民ニーズを的確にとらえた文化事業を実施していく。 令和7年度より『厚生会館文化芸術振興自主事業』及び『福知山市ジュニア文化賞表彰事業』と統合。								

(単位：千円)

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	7	8	2			
	文化賞表彰件数	目標値		5	5	5	—	—	
			達成度	%	140%	160%	40%	#VALUE!	#VALUE!
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	34	36	36			
	候補者照会先	当初見込		34	34	34	—	—	
	活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
市内高等学校及び小中学校のほか、近隣市の高等学校宛に候補者の照会を実施している。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	8	9	4			
	推薦件数	目標値		5	5	5	—	—	
			達成度	%	160%	180%	80%	#VALUE!	#VALUE!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること ジュニア文化賞による表彰をすることで、小中学生及び高校生の文化活動に対する動機付けとなり、文化活動の振興に繋がっている。 一方で表彰を受ける学校が固定化してきている現状もあり、本表彰制度について広く深く理解していただく必要がある。								
現状の課題 に対する 改善策	市内各学校に対して本表彰についてより理解を深めてもらうための資料の作成、共有を行い、より深く理解していただくことで、表彰に関する周知を広め、価値を高める。 ※令和7年度は「市民文化活動推進事業他文化振興関連事業」に統合する。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	佐藤太清記念美術館企画・展示品等充実事業										事業コード	020108650302			
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち						政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり						
	施策名	2 生活の質を高める文化・芸術活動の振興								施策コード	512				
事業担当	所属	020700 市民生活部文化・スポーツ振興室						所属長	井上 郷太郎						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	76	頁
計画期間	開始年度	平成15年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針				R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	佐藤太清記念美術館条例														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 本市の名誉市民である日本画家佐藤太清を顕彰するとともに、佐藤太清画伯の作品を中心とした美術品及び美術に関する資料等の収集保管及び活用により、市民に優れた芸術作品を鑑賞する機会の提供と、本市の文化的な情報発信を行う。						
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 毎年同じ内容の企画展や収蔵作品展を実施していることもあり、内容がマンネリ化している。美術館の核となる展覧会等を企画していく必要がある。						
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 佐藤太清記念美術館において、一般公募で実施する「小さな絵画展」や市内高校からの作品を展示する「高校アート展」他を開催し、作品発表の場、観覧の場として市民文化の発展に寄与することを目的とする。						
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ■令和7年度には漫画家生活30周年を記念した「こうの史代展」を開催する ■幼児から高校生を対象とした「ちいさな絵画展」の開催 ■企画展(常設展)の開催 ■収蔵作品及び佐藤太清賞受賞作品の修理・額装						
対象者	市民、文化活動(文化協会)事業参加者(市内外を対象)			対象者数	75,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (						

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	1,067		1,929		6,935		0			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①～③)		1,067		1,929		6,935		0			
予算財源内訳	① 一般財源	88		333		2,899		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	979		1,596		4,036		0			
決算情報	① 流充用額	△ 22		0							
	② 配当予算	1,045		1,929							
	③ 執行額	916		1,591							
	④ 執行率	87.7%		82.5%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.09	/	1.10	0.39	/	1.15	/			
	② 概算人件費	3,800		6,340							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,716		7,931							
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	佐藤太清記念美術館企画・展示品等充実事業基金繰入			種類	基金繰入金	実績金額	1,067	決算附属資料	35	頁
		市町村交付金				雑入		522		48	
		体験学習会教材費				雑入		2		46	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	人	4812	3745	5593				
	企画展等関連入館者数	目標値		10000	10000	10000	10000	10000		
		達成度		%	48%	37%	56%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	3	3	3				
	企画展開催回数	当初見込		3	3	3	3	3		
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	■令和6年度に開設した美術館の公式サイトやSNS等での告知を強化することで企画展の入館者増につなげる ■市民に興味を持ってもらうような企画を立案する									

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績								
		目標値								
		達成度		%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績								
		当初見込								
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること
	■展示や資料整理、施設管理等適切に運営することができた。 ■毎年同じ内容の企画展や収蔵作品展を実施していることもあり、内容がマンネリ化している。美術館の核となる展覧会等を企画していく必要がある。
現状の課題 に対する 改善策	■見たい展覧会、参加したいワークショップ等、市民ニーズを企画展参加者にアンケートを取り、それを基に企画運営を図り施設を有効に活用する。 ■令和7年度は漫画家生活30周年を記念し、漫画家こうの史代さんの特別展を開催し、これまでの美術館企画展に関心のない層も取り込む。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	佐藤太清記念美術館管理運営事業										事業コード	020108650306				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち						政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり							
	施 策 名	2 生活の質を高める文化・芸術活動の振興								施策コード	512					
事業担当	所 属	020700 市民生活部文化・スポーツ振興室						所属長	井上 郷太郎							
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	77		頁
計画期間	開始年度	平成2年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市佐藤太清記念美術館条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ■福知山市佐藤太清記念美術館の管理運営。佐藤太清画伯の作品を中心とした保管、修復を行う。 ■佐藤太清画伯に関わる資料の収集・保管。 ■美術館の専用ホームページを運営し、広く全国へ情報発信。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ■設備等の老朽化が進んでいる。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 本市の名誉市民である日本画家佐藤太清を顕彰するとともに、佐藤太清画伯の作品を中心とした美術品及び美術に関する資料等の収集保管及び活用により、市民に優れた芸術作品を鑑賞する機会の提供と、本市の文化的な情報発信を行い、市民文化の発展に寄与することを目的とする。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ■福知山市佐藤太清記念美術館の管理運営。 ■佐藤太清画伯の作品の保管、修復を行う。									
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者					対象者数	1,000,000		単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)							
予算情報	① 当初予算	9,418		18,144		12,330		0							
	② 補正予算	0		0		0		0							
	③ 繰越予算	33,605		0		0		0							
	前年度繰越	33,605		0		0									
	次年度繰越	0		0		0		0							
小計(①～③)		43,023		18,144		12,330		0							
予算財源内訳	① 一般財源	9,764		188		6,984		0							
	② 国支出金	0		0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0		0							
	④ 地方債	30,200		0		0		0							
	⑤ その他特財	3,059		17,956		5,346		0							
決算情報	① 流充用額	△ 2,204		△ 585											
	② 配当予算	40,819		17,559											
	③ 執行額	32,968		14,773											
	④ 執行率	80.8%		84.1%											
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全計年度任用職員)	0.28	/	1.80	0.52	/	1.82	/							
	② 概算人件費	7,280		9,256											
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		40,248		24,029											
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	佐藤太清記念美術館振興基金繰入金(佐藤太清記念美術館振興基金)			種類	基金繰入金		実績金額	4,916		決算附属資料	35		頁
			生誕110年佐藤太清展事業清算金				雑入			1,890			49		
			市町村交付金				雑入			1,815			48		
			佐藤太清記念美術館入館料				総務使用料			592			7		
			自動販売機設置貸付収入(美術館売店)				財産貸付収入			173			31		
			美術絵はがき 他				物品売払収入			85			33		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	人	7482	7970	5897			
		目標値		11000	11000	11000	11000	11000	
	入館者数		達成度	%	68%	72%	54%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	3	3	4			
	企画展開催回数	当初見込		3	3	3	3	3	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	■令和6年度に開設した美術館の公式サイトやSNS等での告知を強化することで企画展の入館者増につなげる ■市民に興味を持ってもらうような企画を立案する								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること ■展示や資料整理、施設管理等適切に運営することができた。 ■設備等の老朽化が進んでいる。								
現状の課題 に対する 改善策	■施設設置後30年近くを経て、設備等の老朽化が進んでいることから、計画的な改修や、運営方法について計画的に検討する必要がある。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	厚生会館管理運営事業										事業コード	020108650318			
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち						政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり						
	施 策 名	2 生活の質を高める文化・芸術活動の振興								施策コード	512				
事業担当	所属	020700 市民生活部文化・スポーツ振興室						所属長	井上 郷太郎						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	78	頁
計画期間	開始年度	昭和37年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針				R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市厚生会館条例														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 市民の文化、厚生、産業などの向上及び振興に寄与することを目的として厚生会館を設置している。						
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ コロナ禍を経て利用者が減少傾向にある。さらなる利用促進に向けた情報発信等について検討が必要。						
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 市民の文化、厚生、産業などの向上及び振興に寄与し、市内最大規模の舞台・客席を持つホールとして、利用促進と情報発信を行う。市民に芸術活動の発表の場と鑑賞の機会を提供し、市民文化の向上につなげる。多目的ホールとして公共・民間の各種催事の開催・運営が円滑に行える状態を維持する。厚生会館の利用促進及び文化の拠点としての充実を図り、地域の文化振興を図る。						
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ■厚生会館の施設・設備維持管理、受付・案内業務、施設利用の申請・許可業務。 ■市民の文化、厚生、産業等の向上及び振興に寄与し、市内最大規模の舞台客席を持つ多目的ホールとして公共・民間の各種催事の開催運営が円滑に行える状態を維持する。						
対象者	施設利用者(出演者、入場者など市内外を問わず)			対象者数	75,000	単位あたりコスト	0.5
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (						

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	17,749		19,191		16,070		0				
	② 補正予算	0		3,436		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		17,749		22,627		16,070		0				
予算財源内訳	① 一般財源	7,237		12,101		8,604		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	10,512		10,526		7,466		0				
決算情報	① 流充用額	1,542		△ 268								
	② 配当予算	19,291		22,359								
	③ 執行額	19,290		21,757								
	④ 執行率	100.0%		97.3%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.50	/	2.70	0.75	/	2.40			/		
	② 概算人件費	11,560		12,720								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		30,850		34,477								
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	厚生会館使用料		種類	使用料		実績金額	7,699		7	頁	
		自動販売機等電気代等(厚生会館)			雑入			71				44
		アンテナ設置占用料(厚生会館)			使用料			44				

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	人	39710	32514	33502			
	施設利用者数		目標値		75000	75000	75000	75000	75000	
			達成度	%	53%	43%	45%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	件	873	806	906			
	施設利用件数		当初見込		1500	1500	1500	1500	1500	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	厚生会館の利用件数を指標とする。対象は市民及び市外の利用者。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	千円	6119	7350	7699			
	施設利用料		目標値		14500	14500	14500	14500	14500	
			達成度	%	42%	51%	53%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	%	17.2	15.9	17.2			
	稼働率		当初見込		30	30	30	30	30	
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	厚生会館の稼働率を指標とする。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	福知山市内最大のホール、多目的施設として代替性はなく必要性が高い。新型コロナウイルス感染症の拡大により減少した利用者数は回復傾向にあるが、市民による文化芸術機会の減少が厚生会館の利用者数減少の要因として想定される。また、厚生会館施設及び設備の老朽化により、修繕を要する箇所が多数ある。								
現状の課題 に対する 改善策	築後60年以上が経過しており、老朽化が進行していることもあり、今後の方針について早急に検討する必要がある。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	新文化ホール計画策定事業										事業コード	020108650383			
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち						政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり						
	施策名	2 生活の質を高める文化・芸術活動の振興								施策コード	512				
事業担当	所属	020700 市民生活部文化・スポーツ振興室						所属長	井上 郷太郎						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	79	頁
計画期間	開始年度	令和4年度		終了予定年度	令和6年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針・新文化ホール基本計画				R7現在の状況	廃止/休止		
根拠法令等	文化芸術基本法														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 市民が気軽に文化に接し参加できる文化活動の核となる施設として、新たな文化ホールを整備する。整備に向けては、有識者や関係団体等で構成する検討委員会を設置し、文化ホールとしての機能や、避難所機能など施設の複合化も含め、新文化ホール基本構想・基本計画の検討・策定を行った。 新文化ホールに係る検討過程においては、市民意見を大切に進めてきた一方で、新文化ホール基本計画に関して様々な市民のご意見がある。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 「福知山市新文化ホール基本計画」に関して様々な市民のご意見があることを踏まえて、改めて市民の意見等をお聴きする必要がある。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 「新文化ホール計画策定事業」は休止し、「新文化ホール計画再検討事業」を立ち上げ、基本計画等の再検討に着手する。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 「福知山市新文化ホール基本計画」で定めた施設の機能や規模、場所、スケジュール等について、新たに再検討委員会を設置し、市民懇談会やパブリックコメント等で改めて市民の意見等をお聴きしながら再検討する。									
対象者	市民				対象者数	75,000		単位あたりコスト	0.2	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	1,615		23,821		0		0			
	② 補正予算	1,767		△ 22,148		0		0			
	③ 繰越予算	13,255		0		0		0			
	前年度繰越	13,255		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①～③)		16,637		1,673		0		0			
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	16,637		1,673		0		0			
決算情報	① 流充用額	△ 1,553		0							
	② 配当予算	15,084		1,673							
	③ 執行額	15,026		1,670							
	④ 執行率	99.6%		99.8%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	1.65	/	0.00	1.20	/	0.00	/			
	② 概算人件費	13,200		9,600							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		28,226		11,270							
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	新文化ホール計画策定事業基金繰入(文化芸術会館等建設基金)			種類	基金繰入金	実績金額	1,670	決算附属資料	34	頁
				10							

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	件	1	—	—			
	基本構想策定		目標値		1	—	—	—	—	
			達成度	%	100%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	回	7	3	—			
	検討委員会実施回数		当初見込		7	3	—	—	—	
	活動内容① (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
令和4年12月に福知山市新文化ホール基本構想を策定										
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	件	—	1	—			
	基本計画策定		目標値		—	1	—	—	—	
			達成度	%	#VALUE!	100%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	回	58	—	—			
	関係団体ヒアリング		当初見込		30	—	—	—	—	
	活動内容② (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
令和5年7月に福知山市新文化ホール基本計画を策定										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	R4年度において検討委員会7回開催、基本構想を策定、文化関連団体ヒアリング55団体実施、大学生・高校生にヒアリング3回実施、市民ワークショップ5回開催、Webアンケート118件、パブリックコメント152件など多くの市民意見を聞くことが出来た。 R5年度においては、検討委員会を3回開催した。新文化ホール基本計画の検討過程において、パブリックコメントを行う際、新聞等のメディアに取り上げていただき、212件のパブリックコメントを提出いただいた。 R6年度においては、先進地視察を行い、福知山市新文化ホールの整備に向けた情報収集を行った。 新文化ホールに係る検討過程においては、市民の意見を大切にしながら進めてきたが、本計画に関して様々な市民のご意見があることを踏まえて、改めて市民の意見等をお聴きする必要がある。								
現状の課題 に対する 改善策	様々な市民の声があることを踏まえて、基本構想に定めた理念は大切にしつつ、機能や規模、スケジュール等について、新たな検討委員会を設置し、改めて市民の意見等をお聴きしながら再検討する。 「新文化ホール計画策定事業」は休止し、「新文化ホール計画再検討事業」を立ち上げ、基本計画等の再検討に着手する。								

(単位：千円)

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	-	-	0			
	再検討結果の整理	目標値		-	-	1	1	-	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	0%	0%	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	-	-	3月5日			
	市民懇談会及び再検討委員会実施回数	当初見込		-	-	3月5日	0/5	-	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 【令和6年度】 市民懇談会…計3回実施。令和7年度においては実施しない。 再検討委員会…計5回実施。令和7年度においても計5回実施予定。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	令和6年度においては、「新文化ホール基本計画」の再検討を発表後、再検討委員会を設置し、市民懇談会等により市民の皆さんよりご意見を伺いながら再検討を進めてきた。令和7年3月には地域公民館単位で地域別市民説明会を開催し、情報発信を広く実施できたと考えている。 引き続き、情報発信を行い、市民の皆さんの理解を得ながら再検討を進める。	
現状の課題 に対する 改善策	今後も市民の皆さんの理解を得られるよう、効果的な情報発信を行い、パブリック・コメント等で市民の皆さんの意見を伺いながら再検討を進める。	